

令和3年度 第1回資料館運営委員会 資料

<協議事項>

<令和2年度 資料館事業報告>

1. 展示及び展覧会

(1) 企画展

①ミニ展示

ア) 第1回「寄贈民具」

期間 令和2年 6月 5日 ～ 令和2年10月 31日

内容 近年寄贈された民具、古文書について展示



イ) 第2回「伊那電鉄と松川町開通の歴史」

期間 令和2年11月 10日～ 令和3年1月 15日

内容 上片桐駅 100周年を記念して伊那電鉄の開通した歴史を古文書、古写真などで振り返った。





ウ) 第3回「生活用具とうつりかわり」

期間 令和3年1月19日～ 3月20日

内容 明治時代から昭和にかけての昔の道具を展示



付 「元資料館管理人 早川静子さん 作品展」

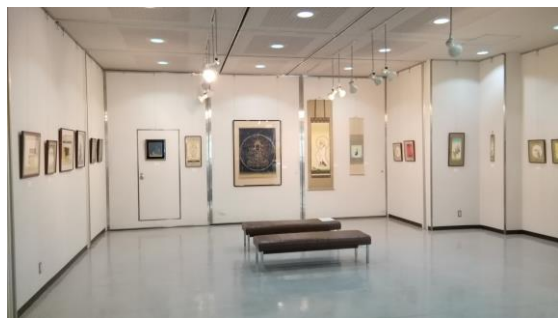


- ★資料館階段通路も使い、なるべく多くの人に目を引いてもらえるよう工夫した。
- ★昨年度は新型コロナ・ウイルス感染症の拡大に伴い、4月から5月中旬まで臨時休館となった。それでも多くの方に企画展を見に来館していただき、特に伊那電鉄の松川町開通の歴史展は新聞に取り上げられ、町内のみならず県内から多くの来館者があった。

(2) 特別展

① 「ちょっと素敵な展覧会 伊勢神宮奉納画家 松尾隆康 祈りの世界」

期 間	令和3年2月19日～ 2月23日
内 容	松尾隆康さん（高森町）の仏画作品展
見学者	70名 （松川町49名 他市町村 21名）



2. 教育普及・学習援助

(1) 松川町教育委員会発行副読本『ふるさと 松川町』の配本

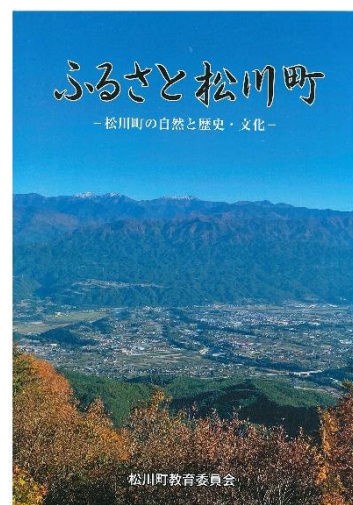
- ・松川北小学校、松川中央小学校3年生～6年生
全員 職員用
- ・松川中学校1年生～3年生 全員 職員用
- ・学校図書館 ・松川高校 ・松川町図書館
- ・令和3年度から小学校新3年生用と学校用若干を配本
- ・令和6年度分迄あり、令和6年度に改訂版発刊の準備をし、発刊する。令和7年度から配本・販売
- ・一般の人への販売も行った。

資料館で直接受け取る人 1冊 1000円

郵送で受け取る人 1冊 1500円

代金は役場会計係へ支払い

令和2年度 73冊販売



(2) 児童・生徒ふるさと学習副読本『ふるさと 松川町』の活用

①チャンネルユーと協力した番組作成による紹介

5月2日～ テレビでまなぼ「天竜川の石ころ観察」

副読本を参考に天竜川の石を分類し、どうやって石ができたのか、どこから流れてきた石なのかを解説した。コロナの影響で休校になった子どもたちに向けて教育番組を作成。

5月10日～ テレビでまなぼ「松川北小学校の歴史」
テレビでまなぼ「松川中央小学校の歴史」
中央公民館館長の山崎氏が松川町の小学校の歴史について紹介

8月4日～ 知っとる？「副読本を活用したフィールドワーク 地質学編」
副読本の地質学分野を執筆された坂本正夫先生に、副読本の内容についてフィールドワークをしながら解説してもらう。

(3) 松川北小学校3年生・松川中央小学校3年生学習援助

- ・松川北小学校 新型コロナ・ウィルス広がりのため見学中止
- ・松川中央小学校

1～3組 組ごとに来館し、2時間ほど学習する。常設展示してある民具や、見学のために収蔵庫より出して展示した民具を見たりさわったりして、メモしたりスケッチしたりした。質問に答えたり必要なことを解説した。

(4) 松川中央小学校2年生学習援助

- ・授業で使用し作業を経験させるため、石臼を貸与

(5) 松川町中央公民館「地域を知る講座～松川町の昔の暮らし～」協力

- ・昨年度は行われなかった。

(6) 地域からの要請に応える

①講演

コミュニティカフェ（講話と現地見学）

10月5日「昭和初期の開墾と果樹栽培の広がり」担当 伊坪

②ツツザキヤマジノギク保存活動への協力

12月19日 ツツザキヤマジノギク播種用種採取

③台城狼煙上げ 協力

8月31日に行った狼煙上げについて、大島城の歴史、武田信玄の狼煙の仕組みについて解説した。

3. 広報活動

(1) チャンネル・ユーと協働で番組を作成し放送した。

①令和2年 6月 14日

「チャンネルユー教育番組 地質学」

②令和2年年 9月 17日

「副読本を使用したフィールドワーク 地質学」

(2) 展覧会（企画展・特別展）の広報

①松川町ホームページ掲載

企画展、特別展をホームページにて告知

②チャンネル・ユーによる広報

企画展、特別展をチャンネル・ユー有線放送にて告知、展示内容の紹介を依頼した。

松川町ホームページに掲載されていた松川町の文化財の紹介ページについて、解説と掲載写真の更新を行った。また松川町の山城の紹介に宮坂武男氏作の推定縄張り図を掲載した。

(3) 公民館報に毎月掲載「松川町の今昔～資料館だより～」

資料館だより45(令和2年4月)No.678	名子有志学友会(その9)
資料館だより46(令和2年6月)No.679	山論と絵図
資料館だより47(令和2年7月)No.680	疫病と対策
資料館だより48(令和2年8月)No.681	昭和初期の開墾と果樹栽培の広がり
資料館だより49(令和2年9月)No.682	松川町と満洲移民(その1)
資料館だより50(令和2年10月)No.683	松川町と満洲移民(その2)
資料館だより51(令和2年11月)No.684	松川町と満洲移民(その3)
資料館だより52(令和3年1月)No.686	伊那電松川町通過の歴史(その1)
資料館だより53(令和3年2月)No.687	伊那電松川町通過の歴史(その2)
資料館だより54(令和3年3月)No.688	伊那電松川町通過の歴史(その3)

(4) 文化財パズルおよび資料館クイズ

昨年度は新しいパズルは作らなかった。今まで作成したパズルは、小学校の児童が放課後來館して楽しんでいる。また保育園の児童が親子で来館してやっていることもある。

クイズは2～3回ほど問題の出題を変えたが、放課後來館する小学生に喜ばれ、多くの児童がクイズに取り組んでいる。

4. その他

(1) 収蔵史料・寄贈史料等の受け入れと整理・目録作成

- ・上片桐地区 北原家（北垣内）文書（資料館へ寄贈されていた）
- ・大島地区 古町 松下家文書（資料館へ寄贈されていた）
南方 倉田家史料（倉田家所蔵）
上新井地区青年会文書（資料館寄託文書中）
松川青年の家文書（資料館保管）
松川中央小学校史料（資料館保管文書及び松川中央
小学校寄託依頼文書）

(2) 中央自動車道発掘調査遺物受納

- ・昭和47年度中央高速自動車道予定地の発掘遺物が、飯田市考古資料館に保管されていたが、松川町資料館へ受納する。
今後整理して収蔵し、展示などをするよう考えている。

(3) 他機関との連携・協力

①信州ミュージアム・ネットワーク「信州とあそぼ！」企画協力

- ・昨年度は中止

②他資料館との連携

- ・高森町歴史民俗資料館、飯田市中央公民館依頼の講演への協力

<報告事項>

(1) 窓口事務補助員

- ・本年度日曜日及び祝祭日の職員不在時等、補助員にて開館してきた。2名いた補助員のうち1名が退職し、3年度新たに補助員を1名依頼する。

(2) 入館者数

- ・きちんとした統計は取れていないが、多い時で1日20名ほど、少ない時は数名という時もある。小中高校生が放課後などに来ることは多くなった。さらに入館してもらえるように、企画展や日常のミニ展示など考えていきたい。

(3) 施設及びその管理

- ・施設の冷暖房、映像機器等、開館から30年近くなってきたので、改善するように考えている。
- ・館内照明器具（蛍光灯・照明ランプ等）の交換が多数あった。